第194号（2002年7月）

調査と情報

編集・発行
㈱農林中金総合研究所 基礎研究部
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-3
TEL. 03-3243-7331
FAX. 03-3246-1984
URL : http://www.nochuri.co.jp
E-mail : sugano@nochuri.co.jp

女性の社会参画の意味

資源に恵まれないわが国では、人材こそが最大の資源であると言われてきた。工場の中国移転による産業の空洞化はもちろん、介護や教育といったこれまで社会的に顕在化しなかった様々な社会問題が噴出しているが、人材の活用が鍵となる。

しかしながら、この国では社会参画は難しい。たとえば、女性の雇用を例にとってみよう。女性の労働力率（一五歳以上の人口に占める就業者と就業希望者の率）は、デンマーク（七三・二％、一九九八年）やアメリカ（六〇％、一九九九年）と比較すると、日本は明らかに低い（四九・二％、二〇〇一年）。労働市場への参入だけが社会参画ではないが、象徴的である。託児所等の整備がお粗末なうえに、とても安心して働けるシステムとはなっていない。

女性の労働意欲や能力が低いわけではない。たとえば、一九九一年と二〇〇二年を比較すると、医師国家試験に占める女性の比率は一九％から三一％に、司法試験では一四％から二三％に上昇している。

しかしながら、現時点では女性の力を生かすまでには至っていない。その結果、たとえば長期海外滞在者数を見ると、女性が男性を上回っている。男性の場合、ほとんどが企業の駐在員であるのに対して、女性の場合には個人が多いという。日本社会に三行半をつきつけているともいえる。

男性を中心とする組織にも女性差別ほどではないが明らかな格差構造がある。たとえば、自殺者は年間三万人を数え、依然として過労死や労災が頻発している。日本社会が「人を大切にする社会」であるならば、効率を多少犠牲にしてでも構成員のことを第一に考えるはずであるが、構成員を犠牲にしてまで利益を追求しているのが現実である。

この国では、常に組織内部に、より小さな内輪のグループであるインナーサークルを形成し、サークルの利益を最優先させる力学が働く。日本の官僚機構はその典型であろう。企業においても、優秀な人間ほど外資に転職するケースが目立つ。

このようなサークルに共通する特徴がある。一つはその無能、無責任さであり、もう一つが外部への説明責任（アカウンタビィリティ）の欠如である。中央官庁の不祥事とそれに対する中央官庁幹部の対応をみれば明らかであろう。そもそも、アカウンタビィリティという言葉に相当する日本語の言葉が存在しない。外部からの厳しい監視がないからである。

このような構造の中で女性の参画は重要である。社会の外側に位置する女性、あるいは同じようなハンディを背負っているグループの社会参画は、複雑な差別の多重構造に変化をもたらす。これは決してインナーサークルに女性を取り込むことではない。中央官庁の幹部に女性が増えても意味がない。インナーサークル構造を変えることが重要であり、このような構造が見落としてきた価値に高い優先順位をつけることである。

そこに至ってはじめて全ての人々が開放され、社会参画の意識をもつことができる。

（副主任研究員　大江徹男）

今月のテーマ：農協経営と女性

女性の社会参画の意味 …… 1
女性会と歩んで …… 2
迫られるジェンダー視点にたった農協経営 …3～4
アワビの資源管理と漁協婦人部の活動 …5～6
ぶっくレビュー『協同組合　六つの誤解』… 7
あぜみち …… 8
フードシステム『生鮮果実と果汁の消費動向』… 9
統計の眼「女性労働白書が示す仕事と子育て両立の困難さ」…10
編集後記 ……10